

## 様式第5号（教育実習実施計画に関する書類）

教 育 実 習 等 実 施 計 画	
1	教育実習等の内容及び成績評価等
①	教育実習等の時期 毎年度、5月～11月
②	「中・高教育実習」は3週間(以上)、120時間(以上) 「高校教育実習」は2週間(以上)、80時間(以上)
③	実習校の確保の方法 立教学院の関係校、およびその他の協力私立学校には「教育実習」履修者の希望に応じて教職課程より依頼、交渉し、確保している。 公立学校については、各都道府県教育委員会に申請し、その選考に応じて確保に努めている。
④	教育実習内容 【中・高教育実習】 授業参観15時間、授業担当20時間（うち研究授業1時間）、研究反省会1時間、放課後の研究指導および課外活動指導、学級運営への参加、体育祭等の特別活動への参加等。 なお実習前半においては、生徒たちの観察を含む授業参観とともに課外活動指導、学級運営への参加に重点を置く。 【高校教育実習】 授業参観15時間、授業担当15時間（うち研究授業1時間）、研究反省会1時間、放課後の研究指導および課外活動指導、学級運営への参加、体育祭等の特別活動への参加等。 なお実習前半においては、生徒たちの観察を含む授業参観とともに課外活動指導、学級運営への参加に重点を置く。
⑤	実習生に対する指導の方法 教職課程専任教員が事前・事後指導を担当し、実習期間中は実習生の希望および実習校の指導教員との打ち合わせ、要請に応じて個別指導の機会を設けて行う。担当の分担は主として「教職実践演習」の履修クラスに応じて行う。 研究授業の参観、指導は教職課程専任教員に加え、各学科専任教員が主として自学科の教育実習生を担当し、実習校に赴いて行う。
⑥	実習の成績評価（評価の基準及び方法） ※ 評価項目表、評価シート等がある場合は、本計画書に添付すること。 1）教育実習事前・事後指導の履修内容、2）教育実習中の日誌・記録、研究授業の授業案、3）教育実習事後レポート、4）教育実習校からの評価資料《添付1》のすべてを基礎資料として評価表《添付2》に基づき、教職課程専任教員が総合的に行う。

2 事前及び事後の指導の内容等
<p>① 時期及び時間数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>2年次(前々年度)ガイダンス(秋学期1回、2時間)</li> <li>3年次(前年度)事前指導(春学期1回、秋学2回、各回4時間)</li> <li>4年次(当該年度)直前指導(春学期1回、4時間)</li> </ul> </li> <li>・事後指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>4年次 (春学期1回、秋学期1回、各4時間) (計30時間)</li> </ul> </li> </ul>
<p>② 内容(具体的な指導項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次(前々年度)ガイダンス(秋学期1回、2時間) 教育実習の概要(守秘義務等のルール、実施内容等)、準備指導</li> <li>・3年次(前年度)ガイダンス(春学期2回、秋学期2回、各回4時間) 現役中高教員によるオリエンテーション(実習受け入れ側の実際、教職の実際、学校経営等)、教科別の学習指導計画案作成指導、実習経験者による課題と反省の論点の共有</li> <li>・4年次(当該年度)直前指導(春学期1回、4時間) 教育実習の課題(各自)確認、最終注意(守秘義務等のルール、ハラスメント・人権の問題等) 事後指導(春学期1回、秋学期1回、各4時間) 教科別学習指導の報告と反省、生徒理解・指導の報告と反省、学級経営その他全般の報告と反省 これらは、各自の「教職課程履修の記録」に記載し、教職課程専任教員が点検する。</li> </ul>
<p>③ 教育実習等におけるハラスメントの防止等に関する学生への指導(相談窓口の周知を含む)及び学内の相談体制等について</p> <p>翌年度の教育実習に関して、実習内諾手続きが完了した学生について、本学教職課程から実習内諾校に送付する書類中に、本学の人権・ハラスメントセンター対策センター長発、本学学生受入担当者宛の「立教大学人権・ハラスメント対策センターからのお願い(学生の実習先等でのハラスメント防止のために)」という文書を同封し、本学が行っている教育実習等におけるハラスメント防止の方針を周知徹底している。この文書を各実習内諾校に送付していることは、実習当該年度4月に行う「教育実習直前指導」においても、各学生にアナウンスするとともに、実習先でハラスメントと思われる事案が発生した場合の連絡・相談方法(教職課程への報告・相談とともに、本学全体の相談窓口も案内)も説明している。</p>

### 3 教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

#### ① 大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

- ・委員会等の名称：「学校・社会教育講座委員会」
- ・委員会等の構成員（役職・人数など）

講座委員長、各学部長、独立研究科代表、教務部長、キリスト教学研究科委員長、教育学科(初等教員養成課程)教員3名、教職課程専任教員5名、その他の社会教育講座課程(司書課程・学芸員課程・社会教育主事課程)3名、総勢26名

- ・委員会等の運営方法

学校・社会教育講座事務室を事務局として、定例年4回、その他必要に応じて委員会を開催し、教職課程の履修状況、科目編成、教員人事、課程修了判定など、全学の教員養成課程運営全般にわたって協議、決定している。

#### 【委員会の組織図】《添付3》

#### ② 大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等（※学校体験活動を含む場合は、大学と学校との連携体制についても記載すること。）

##### <教育実習・学校体験活動共通>

- ・委員会等の名称  
教職課程会議
- ・委員会等の構成員（役職・人数など）  
教職課程専任教員、教育研究コーディネーター
- ・委員会等の運営方法  
毎週定期的に開催している。

### 4 教育実習の受講資格

- ・教員になることを第一志望としていること
- ・実習校の正常な教育活動を妨げるおそれのないこと
- ・伝染のおそれがある疾病のないこと。

上記の事項に加えて次の科目を教育実習前年度までに履修済であること。

- ・「教育原論」
- ・「教育制度論・教育課程論」
- ・「教育心理学」
- ・「生徒・進路指導の理論と方法」
- ・「教職概論」
- ・「特別支援教育の理論と方法」
- ・「各教科の指導法」（中学教員免許の場合は8単位、高校教員免許の場合は4単位）
- ・「教育実習事前指導」

### 5 実習校

教育実習	体験活動	学級数の合計	中学校 7,575 学級、高等学校 3,785 学級
○	×	学校名	私立立教池袋中学校・高等学校（東京都豊島区西池袋 3-34-1）
		教員数	学級数：中学校 12、高等学校 12 生徒数：887 人 94 人（内訳）教諭 40 人、養護教諭 1 人、講師 51 人、理科助手 2 人

○	×	学校名 教員数	私立立教新座中学校・高等学校（埼玉県新座市北野 1-2-25） 学級数：中学校 18、高等学校 24、生徒数：1,619 人 149 人（内訳）教諭 75 人、養護教諭 1 人、講師 73 人		
○	×	学校名 教員数	私立立教女学院中学校・高等学校（東京都杉並区久我山 4-29-60） 学級数：27 生徒数：1,151 人 87 人（内訳）教諭 54 人、養護教諭 2 人、講師 31 人		
○	×	学校名 教員数	私立香蘭女学校中等科・高等科（東京都品川区旗の台 6-22-21） 学級数：24 生徒数：1,041 人 79 人（内訳）教諭 46 人、養護教諭 1 人、講師 32 人		
○	×	教育委員会名	東京都教育委員会	中学校：605	高等学校：186

## 立教大学 教育実習成績報告表

ふりがな		学部	学科 4年 専修
氏名		大学院	研究科
		専攻	前期課程 後期課程
		科目等履修生 (	学部 学科 年3月卒業)

実習期間	月 日 ( ) ~ 月 日 ( )	実習教科	
勤務状況	出勤日数 日 (欠勤 日, 遅刻 回, 早退 回)		
指導教諭			

下記の評価項目の該当に○をつけて下さい。 A=優れている B=普通 C=不十分である

評価項目	主な着眼点	評価
1. 教育への関心	教育への関心の強さや確かさ, 仕事への熱意が十分みられたか	A B C
2. 生徒との 触れ合い	生徒のなかにとけこんで, 相互理解を深めようとする心構えは十分みられたか	A B C
3. 自己表現力	自分の考えや意志を, ことば・文字・その他の表現手段で, 明確にわかりやすく表現しようとしていたか	A B C
4. 生徒理解	生徒の適性に応じた指導をすることに努力していたか	A B C
5. 教材研究	教科内容について十分な理解をもっているか, 教材の選択, 作成, 利用のしかたは適切であったか	A B C
6. 教科指導の 態度・技術	授業の構成, 説明や発問など授業展開の工夫, 生徒への対応のしかたは適切であったか	A B C
7. 学級運営 生活指導	ひとりひとりの生徒, 学級の実態の把握に努め, 生徒の信頼をうけるような指導ができたか	A B C
8. 勤務態度	常に決まりを守り, 誠意をもって仕事に従事したか。学校の方針に理解を示し, 協力的であったか	A B C
9. 事務実務力	学級運営に必要な事務処理等を手際よくこなえたか	A B C

<b>総合評価</b> <small>○をつけて下さい。</small> <small>(A・B・C)に該当する評価</small>	A. よく努力し成果をおさめた  B. まずまず成果をおさめた  C. 努力, 成果とも不十分な点が見られた	所  見	   
	記載者名		(印)

上記のとおりご報告いたします。

20 年 月 日

学校名

学校長名

(印)

\* 実習校へのお願い 実習終了後, 同封の返信用レターパックで「教育実習生出勤簿」とともに立教大学宛にご送付願います。

学生番号



教職課程に関する連絡調整会議  
大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会

- 1 名称: 学校・社会教育講座委員会
- 2 委員会の構成員(25名): 各学部長、全学共通カリキュラム運営センター部長、教育学科教員、教職課程教員、(学芸員・司書・社会教育主事課程教員)、事務局: 学校・社会教育講座事務局
- 3 委員会の運営方法: 年に3回定例で開催する。その他必要に応じて召集する。

立教大学 学校・社会教育講座委員会 組織図



令和7年 2月 8日

立教大学  
総長 西原 廉太 殿

学校名 立教池袋中学校・高等学校

校 長 吉野 光

## 教育実習受け入れ承諾書

学校法人立教学院が設置する立教大学環境学部環境学科に係る教育実習について、下記のとおり、受け入れることを承諾します。

### 記

1. 教育実習受け入れ先  
立教池袋中学校・高等学校
2. 教育実習の受け入れに係る学部・学科・入学定員及び免許状の種類  
環境学部環境学科  
入学定員 204名
  - ・中学校教諭一種免許状（社会）
  - ・高等学校教諭一種免許状（公民）
  - ・中学校教諭一種免許状（理科）
  - ・高等学校教諭一種免許状（理科）
3. 教育実習の受け入れ時期  
令和11年4月から

以 上

令和7年2月10日

立教大学  
総長 西原 廉太 殿

学校名 立教新座中学校・高等学校

校長 佐藤 忠博

## 教育実習受け入れ承諾書

学校法人立教学院が設置する立教大学環境学部環境学科に係る教育実習について、下記のとおり、受け入れることを承諾します。

### 記

1. 教育実習受け入れ先  
立教新座中学校・高等学校
2. 教育実習の受け入れに係る学部・学科・入学定員及び免許状の種類  
環境学部環境学科  
入学定員 204名
  - ・中学校教諭一種免許状（社会）
  - ・高等学校教諭一種免許状（公民）
  - ・中学校教諭一種免許状（理科）
  - ・高等学校教諭一種免許状（理科）
3. 教育実習の受け入れ時期  
令和11年4月から

以上

令和7年 2月18日

立教大学  
総長 西原 廉太 殿

学校名 立教女学院中学校・高等学校

校長 浅香 美音子

### 教育実習受け入れ承諾書

学校法人立教学院が設置する立教大学環境学部環境学科に係る教育実習について、下記のとおり、受け入れることを承諾します。

#### 記

1. 教育実習受け入れ先  
立教女学院中学校・高等学校
2. 教育実習の受け入れに係る学部・学科・入学定員及び免許状の種類  
環境学部環境学科  
入学定員 204名
  - ・中学校教諭一種免許状（社会）
  - ・高等学校教諭一種免許状（公民）
  - ・中学校教諭一種免許状（理科）
  - ・高等学校教諭一種免許状（理科）
3. 教育実習の受け入れ時期  
令和11年4月から

以上

令和7年 2月 12日

立教大学  
総長 西原 廉太 殿

学校名 香蘭女学校中等科・高等科

校長 鈴木 弘

## 教育実習受け入れ承諾書

学校法人立教学院が設置する立教大学環境学部環境学科に係る教育実習について、下記のとおり、受け入れることを承諾します。

### 記

1. 教育実習受け入れ先  
香蘭女学校中等科・高等科
2. 教育実習の受け入れに係る学部・学科・入学定員及び免許状の種類  
環境学部環境学科  
入学定員 204名
  - ・中学校教諭一種免許状（社会）
  - ・高等学校教諭一種免許状（公民）
  - ・中学校教諭一種免許状（理科）
  - ・高等学校教諭一種免許状（理科）
3. 教育実習の受け入れ時期  
令和11年4月から

以上

6 教人選第 8 3 5 号  
令和 7 年 3 月 3 日

立教大学長 殿

東京都教育委員会  
(公印省略)

## 東京都公立学校教育実習実施承認書

このことについて、東京都公立学校での教育実習の実施について、東京都公立学校教育実習取扱要綱に基づき、下記のとおり承認します。

### 記

1 承認する課程の名称、免許状の種類及び免許教科

環境学部 環境学科  
中学校教諭一種免許状（社会）  
高等学校教諭一種免許状（公民）  
中学校教諭一種免許状（理科）  
高等学校教諭一種免許状（理科）

2 承認開始時期 令和 8 年 4 月 1 日

ただし、上記 1 について承認開始時期までに文部科学省からの教職課程認定を受けていることを条件とする。

3 承認番号 第 98 号